

# ステガノグラフィ・コード認識技術

2008年3月更新

## 概要

人と親和性が高い紙メディア(リアル)を媒体に、検索・加工が容易な電子情報(バーチャル)につなぐ新しいユーザーインターフェースを開発しました。紙面に印刷されたコード(1次元[JAN]・2次元[QR]コード、見えないコード[印刷型ステガノグラフィ])を画像として携帯機器で読み取り、認識することにより、電子情報にアクセスできる技術を実現しました。携帯電話、PDA、PC、UNIXサーバなどマルチプラットフォームに対応しています。個人向け用途から業務向け用途まで、さまざまな分野で幅広く活用できます。

## 技術のポイント

### ・コード認識とコード自動抽出機能

さまざまな環境(暗い場所)に強く、処理が高速なコード認識機能を実現しました。携帯電話、PDA、PC、UNIXサーバなどマルチプラットフォームに対応し、携帯電話でも高速処理(1秒以下)が可能のため、携帯電話やPDAだけでデータを取得できます。

### ・見えないデータ埋め込み機能

印刷されたカラー画像の中に、JANコードと同等の10進12桁のデータを埋め込みました。人間の目の特性を利用してデータを埋め込むため、データ埋め込みによる画像の劣化はほとんどわかりません。従来のコードと異なり、画像の中にデータを埋め込むことで、紙メディアのデザイン性を低下させることなく画像と情報を連携させることができます。

## 適用例

### ・院外処方箋

病院で発行する際に予めコードを印刷した院外処方箋を薬局に持って行き、スキャナや汎用カメラでコードを読み取ることで、薬局の調剤管理システムでの処理を迅速・正確に行うなど、コード認識機能による帳票処理機能を提供します。

### ・情報誌、パンフレット

雑誌に掲載された風景画像などに見えないデータを埋め込みます。画像を携帯電話のカメラで読み取ると、地図やイベント情報などの詳細情報を簡単に取得できます。

### ・トレーサビリティ

食料品のパッケージの絵柄や、スーパーの食料品売り場に置かれたカードの画像に、見えないデータを埋め込みます。パッケージを携帯電話のカメラで読み取ると、食料品の原材料や生産者、生産地の情報を簡単に取得できます。

